



「言葉の大切さ」について考えてみます。ぜひ、お子さんと一緒に読んでみて下さい。
大昔の人々は、「言霊（ことだま）」と言っていたそうで、言葉は使い方によって人の幸せと不幸を左右すると信じていたそうです。

この考え方は、今でも通用しています。人に言われた一言でとても暗くいやな気持ちになったり、逆にほげまされたりすることなど皆さんにもいろいろな経験があると思います。

高橋系吾さんの詩がネットにあったので紹介します。

「その一言」

その一言で励まされ その一言で夢をもち

その一言で腹がたち その一言でがっかりし その一言で泣かされる

ほんのわずかな一言が 不思議に大きな力をもつ ほんのちょっとの一言で

どうでしょうか。短い詩の中に、いかに一言の言葉が大事なのかよく表わされていると思います。

もし、自分が一生懸命書いた絵を人から「これ何の絵？」とか言われてしまったらとてもがっかりすると思います。また、自分に対して汚い言葉を使われたらとても嫌だと思えます。こんなことを言ったら友達への心は傷つき、泣いてしまうかもしれない。こんなことを言ったら怒らせてしまうかもしれない。そんな相手を傷つけるような言葉を使っては、いけません。自分では気付かないかもしれませんが、言われた人は辛い思いをします。

逆にたった一言の言葉で自分の将来に夢をもつということがあります。前向きに一步進めることがあります。相手が元気になるように、温かい励ましの言葉をかけてあげられるようになったらいいですね。モス日の皆さんは、友達のよいところを見つけて、ほめることができる人になってほしいと思います。

私自身も友達の一言で励まされたことがあります。こんなこと自分にやれるかな、この仕事はちょっと無理かな、そんなことを悩んでいる時に、友達に励まされたことがあります。そうすると何か勇気が湧いてきます。

言葉は、本当に不思議な力をもっています。これから言葉を大切に、素敵なことが言えるようになるといいですね。そして、手と手を取りあって、仲の良いモス日の一員として毎日生活して行ってほしいと思っています。

授業参観・保護者総会ありがとうございました

13日の授業参観・保護者総会ご出席ありがとうございました。子どもたちの成長をご覧いただき、その後の総会ではPTAへの移行についてご承認をいただきました。

今後は保護者の皆様と教職員が共に手を携えて子どもたちの成長のために取り組んでいきたいと思っています。

また、昨年度も何点かご要望をいただき、改善できることについてはすぐに取り組みました。今後もお気づきになったことがありましたら、遠慮なく校長室までお越し下さい。よろしくお願い致します。

前期生徒総会（中学部） 5月6日

新体制の執行部のもと、前期生徒総会が開かれました。どんなことを目標に何をやるのか、執行部や委員会が提案した議案が協議されました。



今年度は質問・協議が全くなくちょっぴり寂しさを感じる生徒総会でした。

先輩達が築いてきた生徒会ですが、ぜひ新たなことにチャレンジし、新しい風を吹き込んでくれることを期待しています。



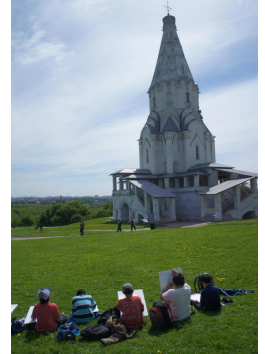
写生遠足 5月29日

昨年度と違って変わった寒さで延期になり、29日に写生遠足に小学部が出かけました。

この日描いた下書きに、図工の時間を使って色をつけて仕上げます。

7月中旬からの児童生徒作品展では保護者の皆様にご覧いただけたと思います。

楽しみにしててください。



中学部修学旅行 5月17日～19日 プラハ

中学部1～3年生が、2泊3日の修学旅行でプラハを訪問しました。出発時のモスクワは気温が低く、どうなるか心配でしたが、プラハは暑く、3日間とも天候にも恵まれ最高の修学旅行となりました。中学部の修学旅行の目的の一つに、平和学習を位置づけています。今回は1日目にリディツ村、2日目にテレジーン収容所を見学し、生徒は平和への思いを一段と強くしたようです。

その他にもマリオネット体験や歴史地区散策など盛りだくさんの日程でした。

写真はリディツ村で館長さんと一緒に撮影したものです。



小学部修学旅行 5月24日～26日

サンクトペテルブルク

小学部5・6年生は、2泊3日の修学旅行でサンクトペテルブルクを訪問しました。

3日間ともあまり良い天気ではないと予報が出ていましたが、3日間とも雨が降らず、雨は1日目の昼食時に降っただけでした。（普段の行いが良いからでしょうか？）

ガイドさんの話もしっかりと聞き、メモをとったり質問したりと事前学習に基づいて真剣に行動していたようです。（しおりのメモ欄がなくなるほどでした。）

学校生活とは違ったホテルでの行動も意識しようと努力していました。

この2泊3日は思い出に残る素晴らしい修学旅行となったと思います。

ご家庭ではお土産話をたくさん聞けたと思います。



